

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年2月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103920
法人名	社会福祉法人 陵風会
事業所名	グループホーム 西谷山
所在地	鹿児島県鹿児島市上福元町5604番地 (電話) 099-260-1343
自己評価作成日	平成31年1月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年2月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

共同生活において、明るい家庭的な雰囲気の中で、日常生活のお世話及び生活リハビリを行うことにより、利用者様がその有する能力に応じた生活が出来るよう、明るい笑顔の絶えない雰囲気作りを念頭において運営を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、2階建てビルにあり2ユニットである。散歩や買い物の際には挨拶や会話を交わし、地域にふれあいながら生活できる環境にある。
- ・町内会に加入し、町内会長や民生委員などを通じて情報交換し、中学生の職場体験学習や看護学生の実習、ボランティアの受け入れも行い、日常的に地域の人々と交流している。
- ・定期的な受診が受けられるよう支援している。「重度化した場合における対応および看取りに関する指針」を重要事項説明書に明記し、職員の研修も実施している。
- ・利用者の状態や残存能力に合わせて、ベッドの検討をしたり、必要時には、褥瘡予防にエアーマットを利用するなど、利用者が自分らしい生活ができるように支援している。
- ・毎月戸外レクリエーションにでかけたり、外食は、利用者の希望で注文し、好きな物を食べることを楽しみにしている。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを図り、職員育成に力を入れている。福利厚生も充実している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を掲げ、毎朝の朝礼時に全員で唱和することで理念を共有し、利用者に接する事の大切さを確認し合っている	独自の理念があり、玄関や事業所内に掲示している。朝礼時に唱和し、職員会議等で振り返り、理念を共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会へ加入している。また、散歩がてらに無人販売所の生産者と会話したり、近隣の方々と気軽に挨拶をかわしている	町内会に加入している。日常的に散歩や買い物に出かけ地域の方と挨拶や話をしている。散歩などで近隣の方々と気軽に挨拶を交わしている。中学生の職場体験や看護学生の実習、ボランティア受け入れも行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域にある中学生の職場体験学習や看護学生の実習を受け入れ、認知症について理解や支援の方法を学んでいただいている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者、利用者家族・民生委員や行政担当者が参加され、意見や助言を頂きサービスの向上に活かしている	会議は2ヶ月に1回定期的に開催している。利用者や事業所の状況・ヒヤリハット・外部評価結果報告等を行い、参加者から質問・意見・要望を受けて話し合いをしている。インフルエンザ予防などに活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	電話や直接出向いたりして様々な情報交換や相談などが出来る関係が築けている	市担当者とは、窓口に出向いたり、電話で事業所の実情や取り組みを伝え連携を深めている。毎年介護相談員を受け入れている。運営推進会議を通して協力関係もできている。市福祉課の担当者とも密に連絡し合っている。市主催の研修会にも積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	3か月に1回カンファレンスを開き勉強しながら、確認し合っている。外・内部の研修会へ参加し理解を深めている。以前は玄関の施錠をしていたが、現在は行っていない	身体拘束廃止のマニュアルがあり、身体拘束廃止委員会で3ヶ月毎に勉強会を実施している。言葉による拘束も含め、身体拘束のない支援を行っている。玄関は昼間は施錠せず、外出希望者には様子を察知したら、職員間の連携で散歩したりして、安全な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	認知症高齢者の身体的・精神的な理解を深めるための勉強会を定期的に行っている。スタッフ同士注意し合いながら、全員で虐待防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	内部研修等行ない、スタッフも理解できるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分な説明の上、話し合いを設けて理解・納得を図っている。改定等の際は、文書を通して説明し、同意を得ています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関受付に意見箱を設置し、誰でも意見・要望が出来るようにしている。また、面会時には積極的に話をする機会を設け、意見や要望の把握に努めている	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、市相談員の結果も参考にしている。家族からは面会や昼食を共にした家族会・電話・運営推進会議等が意見を聞く良い機会となっている。意見箱も設置している。毎月、便りを送付し、現状報告をして要望を聞いている。外出の機会を検討したり、外食時にノンアルコールを出すなど、反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議・朝礼・カンファレンス等にて意見を聞き運営に反映している。また、日頃より意見や要望等が言いやすい雰囲気作りに努めている	管理者は朝礼時やカンファレンス・職員会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。出された意見で、職員の食事会を設け話す機会を持ち、日頃言い難いことも話せる工夫をして、職場環境整備に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>スタッフが働きやすい雰囲気作りに努めている。職員の資格取得に向けた支援を行うとともに職場環境条件の整備に努めている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修会には交代で参加してもらい、カンファレンス等にて発表の場を設け、全員で情報を共有している。また、毎月内部研修を開催している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大隅地区グループホーム協議会の研修に積極的に参加するようにしている。近くに訪問や電話などで意見交換できる同業者がいる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>信頼関係を確保するために本人様に寄り添い、不安なことや要望等を傾聴し安心して頂けるように努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>見学時や面談の際に、ご家族の思いを傾聴し、相談や要望等に応じている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>見学や面談の際に見極めたり関係者より情報を収集して見極めている。困難な場合でも相談を受けて必要に応じて他の関係機関に相談したりして対応しています</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>生活のあらゆる場面において出来る事の役割を担ってもらい、一緒に楽しみながら行なっている。共に支え合える関係を築くよう尊厳と敬意の心を持ちながら接している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や家族会、行事などに参加して頂き、日頃の様子をお伝えし、情報を共有し相談しながら、支えていく関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力を頂き外出等継続できるように支援している。また、馴染みの方々の訪問に際しては、本人様の居室でゆっくりと過ごして頂けるよう支援に努めている	家族や友人・知人の訪問を奨励し、お茶を一緒に飲みながら話している。訪問理美容師を利用している。手紙や電話の取次ぎなども行って、継続的關係が途切れないよう支援している。家族の協力で外出や外食・墓参などにも出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、座席を工夫したり、レクや行事等へ誘導したり利用者同士の交流を手伝いながら関わり合える機会を設けるよう努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院等への転院や退去後もお見舞いや面会等へ行き、ご家族からの相談事に応じたりして支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らしの中で本人様の思いや希望を聞き把握に努めている。困難な場合でも生活歴・しぐさや言動等よりご本人の思いを考えケアに取り入れられるようにしている	日々の関わりの中で個々人とのコミュニケーションを図り、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、介護相談員の助言や利用者の思いを家族とも相談し、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書やご本人・ご家族の方と会話時に情報を得て、カンファレンスにて共有し、全員が把握できるように取り組んでいる		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中で、観察や記録を通して把握したり、朝の申し送りやカンファレンスにて情報を共有し、把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様・ご家族より思いや意向を聞き、カンファレンス等で個々の状況確認や検討を行い、介護計画に反映させている	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も参考に、担当者会議で話し合い個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の記録や申し送りで情報を共有しながら、実践に繋げている。また、緊急時または3か月に1回モニタリングで見直しを図っている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>色々な状況に応じて柔軟に対応できるように取り組んでいる</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>訪問美容サービスなどを活用している。地域包括センターや民生員などの協力を得ながら支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>スタッフが同行しかかりつけ医へ受診している。また、状態に応じて往診をしていただいている。本人・ご家族のご要望がある時にはご家族に協力を頂き、医療機関の受診をお願いしている</p>	<p>本人及び家族の希望で、ほとんど母体医療機関が主治医となっている。受診は職員が支援し、協力医の月1回の往診や歯科も対応している。他科受診は家族の協力を得て支援している。受診時に情報を提供するなど医療機関と連携を取っている。緊急時の対応など、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>受診時や訪問看護の時に看護師に伝え相談や助言をいただいている。また、急変時にはかかりつけ医の看護師へ連絡し指示を仰いでいる</p>	/	/
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中にはお見舞いやご家族の相談にのり、本人様の症状等担当者と情報交換しながらできるだけ早期に退院できるようにしている</p>	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>2度看取りを行なっている。早い段階に本人やご家族・主治医と話し合い、ご家族等の希望に添えるようチーム全体で情報を共有し支援に取り組んでいる</p>	<p>「重度化や終末期に伴う対応の指針」を重要事項説明書に明記している。状況変化に伴い本人や家族の意向を随時確認し、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。職員全員がその方針を認識し、関連の勉強会を行っている。看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生に備えてマニュアルを作成している。また、外・内部の研修に参加し、実践力を身に付けられるようにしている</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時対応のマニュアルを作成し、年2回消防隊に来てもらったり自主訓練を行っている。今後は地域の協力体制を呼び掛けていきたい</p>	<p>マニュアルを作成し、消防署立会いのもと年1回、自主で年1回昼夜想定避難訓練を実施している。2階の避難は非常階段を利用して訓練している。防災設備は定期的に点検している。スプリンクラーや緊急通報装置を設置し、地域にも協力体制の依頼をしている。災害時の水・米・缶詰・パンなどの備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人様の性格・生活歴などを把握し、ほこりやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に心掛けている	接遇等の勉強会を行い、職員の資質向上に取り組んでいる。入室時はノックし確認している。座席はほぼ固定しているが、状況を見ながら臨機応変に変更し、落ち着いて過ごせるようにしている。入浴介助・トイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮を行い、誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中でコミュニケーションを図り、自己決定できるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人ひとりのペースに合わせて天気の良い日には外へ日光浴をしたり希望に添って支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	2ヶ月に1回訪問美容をたのんでいます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	簡単な調理や野菜の皮むき、後片付けを声かけしお願いしている	菜園の野菜を収穫したり、旬の食材で、嗜好に配慮し、個々に応じた食事形態を工夫している。野菜の下ごしらえや片付け・ちまき作りなどを職員と一緒にやっている。誕生祝いや季節の行事食・月1回の外食は、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人ひとりに合った分量等把握し、水分補給も行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりに応じた口腔ケアをしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間をみてトイレへの声かけを行ない、トイレでの排泄をしている	排泄チェック表で排泄能力やパターンを把握している。必要に応じての声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。排泄用品は個人に合わせて使用している。夜間のみポータブルトイレ利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の記録をとり飲食物の工夫や運動の働きかけ等個々に応じた予防に取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日は決められているが、時間はなるべく本人に聞いて入浴できるように支援している	基本的には週3回、午前中の入浴であるが、個人の体調や希望にそって柔軟に対応している。夏はシャワー浴や毎日の入浴を楽しむ利用者もいる。入浴を拒む利用者はいない。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人ひとりの生活習慣や状況に応じて休息したり、日中活動してもらい、夜はゆっくり眠って頂くよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の支援と症状の変化の確認に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>1人ひとりに合った楽しみ・散歩やドライブ等行ない、利用者の誕生日はお祝いしています</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>月に1回は利用者が好む物を食べに行くように支援している</p>	<p>日常的には周辺の散歩や外気浴を楽しんでいる。週2回の買い物や希望でドライブに出かけたりもする。行事計画で初詣やソーマン流し・花見・道の駅・いちご狩りなどにも出かけている。家族の協力で外泊や外出・外食・墓参などの際にも支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は、事務所でいすたッフが管理している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望者のみ支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日掃除をし、綺麗にしている。居間は、毎月壁画を変え利用者の方に季節感を味わってもらっている	共用の空間は換気や採光に配慮し清潔である。2階の窓からは、街並みや風景・人の往来が楽しめる。ホールには利用者と職員で作成した季節感を大事にした飾りつけや花も飾ってある。ゆったりしたソファで居心地よく過ごせるような工夫もされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者の希望により、居室で過ごしたり、ホールで他の方々と話したり音楽を聴いたり工夫している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者1人ひとりが使いやすいように家具等配置したり、家族の写真やぬいぐるみを飾ったり工夫している	ベッドは状態や残存機能に応じて使用している。寝具やテレビ・時計・加湿器・エアーマット・写真・暦など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。必要に応じてポータブルトイレが置かれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全フロアバリアフリーにて安全に生活が送れ、居室の前に名札と写真を貼り部屋がわかるように工夫している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない